

2021年2月吉日

生活協同組合コープさっぽろ

広報部

## 常時の省エネルギーと非常時のBCP対策を両立する発電が可能に 「オンサイト発電によるBCPサービス」竣工式のご案内

平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

生活協同組合コープさっぽろ(以下、コープさっぽろ)は、東京都市サービス株式会社(以下、東京都市サービス)(株式資本:伊藤忠エネクス株式会社66.6%、東京電力エナジーパートナー株式会社33.4%)と協業し、オンサイト発電によるBCPサービス(以下、本サービス)の展開を2019年7月より進めて参りました。

本サービスの実現により、SDGs(持続可能な開発目標)の取組の一つとして、常時の省エネルギーと非常時のBCP対策を両立する発電が可能となり、食の安全と、食料供給性能向上に貢献することができます。

この度、第一号案件としてコープさっぽろの関連会社であるコープフーズ株式会社石狩工場(以下、コープフーズ石狩工場)にて本サービスを導入し、竣工式を執り行うこととなりました。

つきましては、以下のとおり実施いたしますので、ご取材くださいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 【概要】

■日時 2021年2月16日(火)10時～

■会場 コープフーズ株式会社石狩工場(住所:石狩市新港西2丁目754-1)

|      |                    |                  |       |   |
|------|--------------------|------------------|-------|---|
| ■登壇者 | 東京都市サービス株式会社       | 代表取締役社長          | 福嶋 岳夫 | 様 |
|      | 伊藤忠エネクス株式会社        | 常務執行役員 産業ビジネス部門長 | 普世 肅久 | 様 |
|      | 王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社 | 代表取締役社長          | 尾崎 信介 | 様 |
|      | 新菱冷熱工業株式会社         | 常務執行役員           | 渡邊 隆生 | 様 |
|      | コープフーズ株式会社         | 代表取締役社長          | 盛川 智彦 |   |
|      | 株式会社トドック電力         | 代表取締役社長          | 渡邊 美彦 |   |
|      | 生活協同組合コープさっぽろ      | 理事長              | 大見 英明 |   |

以上

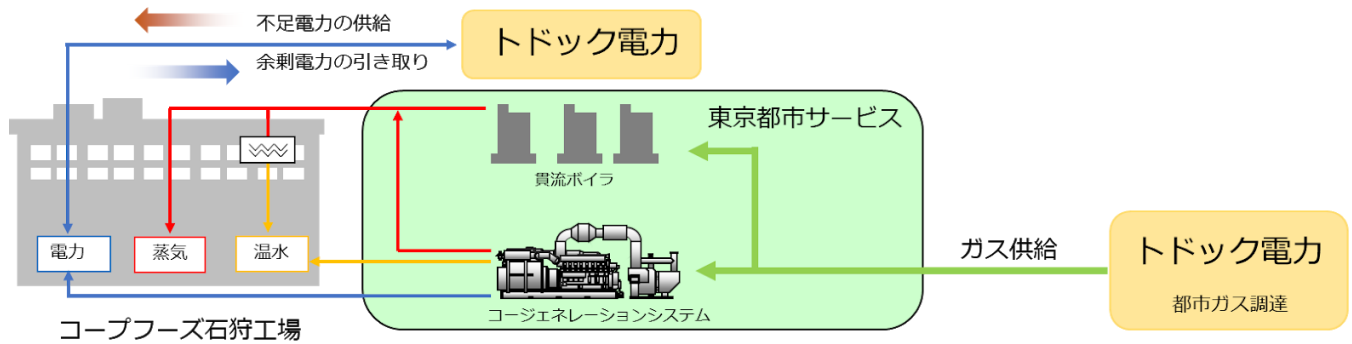
#### 【本件に関するお問合せ先】

株式会社トドック電力 代表取締役 渡邊 美彦

〒060-0008 札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル7階 TEL 080-2879-3280(渡邊携帯番号)

【参考資料】

＜コープフーズ石狩工場設備フロー＞



＜コープフーズ石狩工場設備概要＞

■高効率コージェネシステム発電装置 × 1基

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| メーカー名 | 三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社   |
| 型式    | SGP M1000-S-1S          |
| 発電機出力 | 1000.0kW                |
| 燃料消費量 | 209.0m <sup>3</sup> N/h |
| 発電効率  | 42.4%                   |
| 総合効率  | 73.7%                   |



■小型高効率ボイラ × 3基

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| メーカー名 | 株式会社ヒラカワ                |
| 型式    | HKM-2000G-F             |
| 換算蒸発量 | 2,000kg/h               |
| 熱出力   | 1,250kW                 |
| 燃料消費量 | 113.4m <sup>3</sup> N/h |
| ボイラ効率 | 98.0%                   |



本サービス事業は2018年9月に発生した北海道胆振東部地震での広域停電の教訓を踏まえ、トドック電力と東京都市サービスが、常用・非常用を兼ねた発電設備(コージェネレーション等)を設置しました。SDGs(持続可能な開発目標)の取組の一つとして、常時の省エネルギーと非常時のBCP対策を両立する発電サービスを導入することで組合員様へ事業継続体制の強化を通じた食の安全と、食料供給性能向上に貢献して参ります。